

動物用 **タナベール**農林水産省家畜伝染病予防法  
指定消毒薬成分含有

製造番号

## 〔成分〕

本品 100g中

オルトジクロロベンゼン……………75.0g  
 クレゾール……………7.0g  
 その他 溶剤、乳化剤

## 〔効能・効果〕

- (1) 畜・鶏舎の消毒
- (2) 踏込槽の消毒
- (3) 鶏コクシジウムオーシストの消毒
- (4) ハエ幼虫(ウジ)の駆除

## 〔用法・用量〕

1. 畜・鶏舎:本剤の100～200倍水溶液を床面又は壁に適量散布する。
2. 踏込槽:本剤の30～100倍水溶液を使用する。
3. 鶏コクシジウムオーシスト:本剤の30～100倍水溶液を使用する。
4. ハエ幼虫(ウジ):本剤の30～100倍水溶液を1mlにつき0.3～1Lハエ幼虫の発生場所に散布する。

## I. 使用に際しての注意

1. 使用前に必ずラベルをよく読み、十分理解した上で使用して下さい。
2. 定められた効能又は効果に従い、用法及び用量を厳守して使用して下さい。間違った使い方をすると、効力不足や健康を害することがあります。
3. 環境を汚染しないために乱用を避けて下さい。また、養殖池、井戸、地下水等を汚染するおそれのある場所、蜜蜂、蚕(業)、植物、水棲生物に被害を及ぼすおそれのある場所では使用しないで下さい。
4. 希釈する場合は希釈液が跳ね返らないようにして、均一に攪拌し、手や指で直接かき混ぜるようなことはしないで下さい。薬液の容器は専用のものとし、他と兼用しないで下さい。
5. 使用に際しては、必要量だけを分取して調製し、その都度使い切ってください。
6. 本剤と他の薬剤とをむやみに混合したり、加熱したりしないで下さい。
7. 病人、特異体質者、妊婦、乳幼児等は、薬剤の影響の無い場所に移動させて下さい。薬剤によってアレルギー症状やカブレ等を起こしやすい特異体質の人は、薬剤の処理作業には従事しないで下さい。
8. 家畜、家業等へは直接噴霧しないようにして下さい。また、飼料、飲水、給餌機や飲水機、搾乳機械、牛乳、卵等はあらかじめ他へ移すが、不透性の覆いを掛ける等の措置をし、薬剤の影響が及ばないようにして下さい。
9. 気密性の高いウインドレス畜・鶏舎内等で使用する際は、牛や豚、鶏等を畜舎や鶏舎内から薬剤の影響のない場所に移動させた後、消毒を行い、その後、十分換気を行い薬剤の影響がなくなってから戻すようにして下さい。
10. 食品、食器、飼料、おもちゃ、寝具、衣類、愛玩動物、觀賞魚、植物、貴重品、美術品、楽器、電気製品等はあらかじめ他へ移すが、あるいは格納し、薬剤がかからないようにして下さい。

## II. 使用中又は使用後の注意

1. 塗装面やプラスチック、石材、漆器、白木等に薬剤が付着した場合は変色・変型する場合がありますので、覆い等の処置をして薬剤がかからないようにして下さい。特に塩化ビニール樹脂をおかしく易いので、塩化ビニール樹脂を使用した機器、装置類には使用しないで下さい。
2. 保護具(長袖の作業衣、作業帽、保護メガネ、保護マスク、保護靴、ゴム手袋等)及び使用する機械器具は、あらかじめよく点検整備しておいて下さい。使用に際しては、保護具は必ず着用し、身体の露出部を少なくして薬剤をあびないようにして下さい。なお、屋内での使用後は必ず換気を行って下さい。
3. 本剤は引火のおそれがありますから、火気のある場所では使用しないで下さい。また、電気火花が発生しそうなところは電源を切ってから使用して下さい。

4. 薬剤の調製、散布中は喫煙、飲食をしないで下さい。使用中又は使用後にトイレに行くときは、手や顔をよく洗ってから行って下さい。
5. 使用後は必ず、また、薬剤が皮膚に付いたときは直ちに石けんと水でよく洗って下さい。万一、薬剤が目、口等に入った場合には直ちに水で15分以上よく洗い流し、直ちに医師の診療を受けて下さい。作業中に大量の薬剤を浴びた場合には、直ちに汚染した衣類を脱ぎ、シャワーを浴びるなどして体に付着した薬剤を洗い落とし、清潔な衣類に着替えて下さい。また、必要に応じて、医師の診療を受けて下さい。
6. 万一、誤って薬剤を飲み込んだ場合や、薬剤の使用により、頭痛、目や喉の痛み、咳、めまい、吐気、気分が悪くなった場合などには、直ちに使用を中止し、清浄な空気のある場所で安静にして、医師の診療を受けて下さい。医師の診療を受ける際には、本剤がオルトジクロロベンゼン75%及びクレゾール7%を含有する消毒剤(乳剤)であること、及び症状、被曝状況等についてできるだけ詳細に医師に告げて下さい。
7. 作業時の衣服は他の衣服と区別して洗濯し、保護具も洗剤を使ってよく洗って下さい。希釈や薬剤処理に用いた機械器具類もよく洗って下さい。
8. 使用済みの空容器等は、石けん水でよく洗い、小児が触れないようにするとともに、他に転用しないで下さい。汚染した器物や洗浄液は、作業現場から持ち帰り、処分にあたっては、自治体の条例や指導に従って処分して下さい。決して、河川、湖沼、下水道等の水系や地下水を汚染するおそれのある場所には、捨てないで下さい。活性汚泥処理施設のある水系に流す場合は、少なくとも1万倍以上に希釈し、また、一時に多量に流さないように注意して下さい。


## III. 保管上の注意

1. 使用後に残った薬剤原液は、ラベル表示のある元の容器に密封し、他のものと区別して保管して下さい。
2. 保管場所は、小児の手の届かない場所で、直射日光が当たらない乾燥した涼しい場所にして下さい。

## IV. その他の注意事項

1. 購入した薬剤は速やかに使いきってください。
2. 漏洩した場合には次のように処置して下さい。
  - ①薬剤が漏洩した場合は、吸収性の媒体、例えば砂、軽石、ポロ布、オガクズ等に吸着させ、広がりを阻止して回収して下さい。
  - ②薬剤が漏洩し、火災の危険性が生じた場合には、すべての火元を止め、火災の誘発を防止する措置を講じて下さい。
  - ③漏洩した薬剤が井戸、池、河川等の水系に流入した場合は、直ちに警察又は保健所に届け出て下さい。
3. 火災事故の場合には次のように処置して下さい。
  - ①火災の拡大を軽減する最大の措置を講じて下さい。
  - ②薬剤が燃焼すると有害なガスが発生するおそれがあるので、人を避難させて下さい。
4. ラベルに記載した使用方法や注意事項等を守らないで生じた事故についての責任は負うことができません。

お問合せ先: 0120-039133

製造販売元  **大阪化成株式会社**  
 大阪市西淀川区中島2丁目6番11号

販売 **DSファーマアニマルヘルス株式会社**  
 大阪市中央区本町2-5-7

| 指針番号 | 国連番号 |
|------|------|
| 152  | 1591 |